



絵本の紹介

～未満児の冬のおすすめ～

てぶくろ

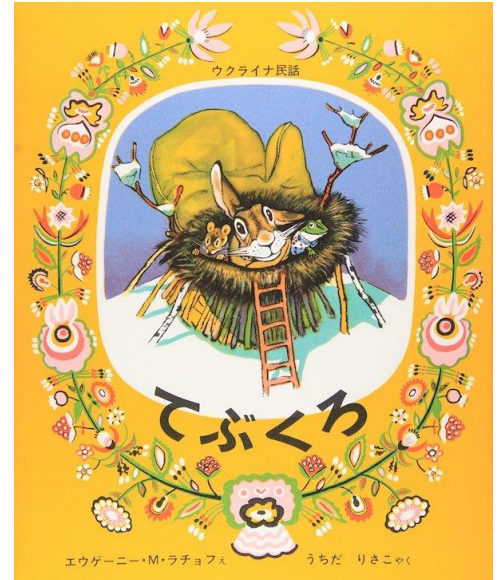
ウクライナ民話

エウゲーニー・M・ラチョフ え うちだ りさこ やく 福音館書店

森を歩いていたおじいさんが落としたてぶくろを住まいとして、動物たちが次々に入ってきます。くいしんぼねずみ、ぴよんぴよんがえる、はやあしうさぎ、おしゃれぎつね、はいいろおおかみ、きばもちいのしし。そして、ぎゅうぎゅう詰めになった手袋に最後にはいつてきたのはのっそりぐまです。手袋も段々とお家らしくはしごがかけられ、窓が出来、煙突から煙も出ています。子どもたちはそれぞれの動物たちの真似をすることもありますし、手袋のお家に入れるかどうかハラハラしています。

セリフのテンポもよく、ストーリーもわかりやすいので「これ読んで！」と持ってくる子が多いです。

こいぬが吠えて動物がてぶくろからはい出して逃げ出し、おじいさんがてぶくろを拾うとファンタジーの世界からいっきに現実の世界に戻っていくのもおもしろいです。



おふろにいれて

せな けいこ 作・絵 ポプラ社

男の子がおふろに入っていると、窓から動物たちが「ぼくも入れてくださいな」と次々に入ってきました。はいりたいのは動物たちだけではなくて、なんと！おばけも入ってきたのです。みんなはびっくりして逃げようとしたのですがおばけが魔法をかけてお風呂を大きくしてみんなで楽しくおふろにはいりました。寒い冬はお風呂であったまっでゆっくりしたいですね。大人気のせなけいこさんのおばけシリーズの本です。クリスマスのおばけ、おばけなんてないさ、に続いて「おふろにいれて」を紹介しました。みんなの入っているおふろにもおばけが入ってくるかもしれませぬね！

